



## 平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 東洋刃物株式会社

上場取引所 東

コード番号 5964 URL <http://www.toyoknife.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清野 芳彰

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 久保 雅義

TEL 022-358-8911

四半期報告書提出予定日 平成29年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	2,545	0.5	124	8.7	92	83.3	73	105.1
29年3月期第2四半期	2,532	6.5	114	11.6	50	38.4	36	45.6

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 99百万円 ( %) 29年3月期第2四半期 7百万円 ( 89.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	48.15	42.45
29年3月期第2四半期	22.87	21.21

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	6,534	1,624	24.8	1,056.71
29年3月期	6,314	1,524	24.1	991.86

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 1,622百万円 29年3月期 1,522百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,050	1.5	240	18.2	200	3.8	170	36.1	108.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	1,577,300 株	29年3月期	1,577,300 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	42,340 株	29年3月期	42,340 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	1,534,960 株	29年3月期2Q	1,575,072 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在における入手可能な情報及び将来の業績に与える不確定な要因に係る仮定を前提としています。実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、平成29年12月13日(水)に機関投資家及びアナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算補足説明資料を開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	P2
(1) 経営成績に関する説明 .....	P2
(2) 財政状態に関する説明 .....	P2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	P3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	P4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	P4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	P6
(3) 四半期連結連結キャッシュ・フロー計算書 .....	P8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	P9
(継続企業の前提に関する注記) .....	P9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	P9
(セグメント情報等) .....	P9
(重要な後発事象) .....	P10
3. その他 .....	P11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、戦後2番目の「いざなぎ景気」に並ぶという状況を背景に、企業収益の回復基調は継続し、設備投資も底堅く雇用や所得情勢も堅調であり、個人消費も改善するなか推移いたしました。海外経済は、中国の過剰設備・債務の調整による減速懸念はあるものの、米国やユーロ圏では、民間需要に支えられ個人消費は堅調さを維持しており、総じて回復基調は継続していると判断されますが、米国の新政権の政策動向による影響は、引き続き懸念される状況にあります。

当社グループにおきましては、IT関連業種の需要を取り込み、主力の情報産業用刃物の好調な受注が下支えし、製紙パルプ用刃物、その他に分類される刃物関連も堅調であり、鉄鋼用刃物や産業用機械及び部品、緑化造園の減少を補い、当第2四半期連結累計期間における売上高は、25億45百万円（前年同四半期比0.5%増）となりました。損益面におきましては、業務改善活動を推進するなかで各種経費の削減に一定の効果があり、営業利益1億24百万円（前年同四半期比8.7%増）、シンジケートローンにかかる費用の減少もあり、経常利益92百万円（前年同四半期比83.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益73百万円（前年同四半期比105.1%増）となりました。

## ア) 機械刃物及び機械・部品

当セグメントにおきましては、主力の情報産業用刃物は好調に推移し、製紙パルプ用刃物、その他に分類される刃物関連も堅調であり、鉄鋼用刃物や産業用機械及び部品に減少はあったものの売上高23億21百万円（前年同四半期比3.2%増）、セグメント利益2億85百万円（前年同四半期比12.3%増）となりました。

## イ) 緑化造園

当セグメントにおきましては、造園工事関連の前連結会計年度末における受注減の影響もあり、管理業務は継続して堅調に推移しているものの売上高2億24百万円（前年同四半期比20.8%減）となり、セグメント利益は10百万円（前年同四半期比57.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産の状況)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて4.2%増加し、45億75百万円となりました。これは主として電子記録債権の増加などによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.8%増加し、19億59百万円となりました。これは主に機械装置及び運搬具などの有形固定資産の増加などによるものです。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.5%増加し、65億34百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて6.6%増加し、29億13百万円となりました。これは主として賞与引当金の増加などによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて2.9%減少し、19億96百万円となりました。これは主として長期借入金の減少などによるものです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて2.5%増加し、49億10百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて6.5%増加し、16億24百万円となりました。これは主として親会社株主に帰属する四半期純利益計上などによる利益剰余金の増加などによるものです。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ0百万円減少し、18億3百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は1億41百万円(前年同四半期比43.0%減)となりました。これは主に売上債権の減少額1億66百万円などがあったものの、税金等調整前四半期純利益92百万円、仕入債務の増加額80百万円、減価償却費76百万円などがあったことを反映したものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は62百万円(前年同四半期は17百万円の減少)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出64百万円などがあったことを反映したものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は77百万円(前年同四半期は66百万円の減少)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出65百万円などがあったことによるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日発表の通期の業績予想に変更はありません。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確定な要因に係る仮定を前提としています。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,947	1,947
受取手形及び売掛金	1,120	1,220
電子記録債権	338	405
製品	173	211
仕掛品	393	341
原材料及び貯蔵品	301	330
繰延税金資産	95	98
その他	21	24
貸倒引当金	△1	△3
流動資産合計	4,390	4,575
固定資産		
有形固定資産	1,403	1,408
無形固定資産	7	10
投資その他の資産		
投資その他の資産	525	556
貸倒引当金	△12	△16
投資その他の資産合計	512	539
固定資産合計	1,924	1,959
資産合計	6,314	6,534
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	588	669
短期借入金	1,708	1,697
未払法人税等	31	29
賞与引当金	79	110
その他	324	406
流動負債合計	2,733	2,913
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	200	200
長期借入金	860	800
繰延税金負債	19	28
退職給付に係る負債	919	917
役員退職慰労引当金	19	20
環境対策引当金	19	19
その他	15	10
固定負債合計	2,055	1,996
負債合計	4,789	4,910

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	500	500
資本剰余金	354	354
利益剰余金	741	814
自己株式	△31	△31
株主資本合計	1,564	1,638
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	79	97
為替換算調整勘定	13	14
退職給付に係る調整累計額	△135	△128
その他の包括利益累計額合計	△42	△16
非支配株主持分	2	2
純資産合計	1,524	1,624
負債純資産合計	6,314	6,534

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	2,532	2,545
売上原価	1,884	1,848
売上総利益	647	697
販売費及び一般管理費	533	573
営業利益	114	124
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	3	3
持分法による投資利益	-	1
固定資産賃貸収入	4	3
その他	9	4
営業外収益合計	18	14
営業外費用		
支払利息	34	24
持分法による投資損失	0	-
シンジケートローン手数料	24	14
その他	23	7
営業外費用合計	82	46
経常利益	50	92
税金等調整前四半期純利益	50	92
法人税、住民税及び事業税	16	22
法人税等調整額	△1	△3
法人税等合計	14	18
四半期純利益	36	74
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	36	73



## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	36	74
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4	18
為替換算調整勘定	△19	△0
退職給付に係る調整額	11	6
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	1
その他の包括利益合計	△29	25
四半期包括利益	7	99
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6	99
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	50	92
減価償却費	70	76
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	6
賞与引当金の増減額 (△は減少)	6	30
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	16	5
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0	0
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△1	-
受取利息及び受取配当金	△4	△4
持分法による投資損益 (△は益)	0	△1
支払利息及び社債利息	34	24
売上債権の増減額 (△は増加)	169	△166
たな卸資産の増減額 (△は増加)	8	△15
仕入債務の増減額 (△は減少)	△11	80
その他	△52	51
小計	286	179
利息及び配当金の受取額	6	6
利息の支払額	△18	△19
法人税等の支払額	△25	△24
営業活動によるキャッシュ・フロー	248	141
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△83	△83
定期預金の払戻による収入	80	83
有形固定資産の取得による支出	△19	△64
その他	5	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△17	△62
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,440	-
短期借入金の返済による支出	△130	△6
長期借入れによる収入	1,000	-
長期借入金の返済による支出	△2,369	△65
その他	△6	△6
財務活動によるキャッシュ・フロー	△66	△77
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10	△1
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	153	△0
現金及び現金同等物の期首残高	1,622	1,803
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,776	1,803

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	機械刃物及び機械・部品	緑化造園	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,248	283	2,532
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	0
計	2,248	283	2,532
セグメント利益	254	24	279

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	279
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△165
四半期連結損益計算書の営業利益	114

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		
	機械刃物及び機械・部品	緑化造園	計
売上高			
外部顧客への売上高	2,321	224	2,545
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,321	224	2,545
セグメント利益	285	10	296

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	296
セグメント間取引消去	0
全社費用(注)	△172
四半期連結損益計算書の営業利益	124

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

## 3. その他

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## 1. 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(百万円)	前年同四半期比(%)
機械刃物及び機械・部品	2,337	3.8
緑化造園	224	△20.8
合 計	2,562	1.1

- (注) 1 金額は販売価格であり、セグメント間の取引については相殺処理しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 2. 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(百万円)	前年同四半期比(%)	受注残高(百万円)	前年同四半期比(%)
機械刃物及び機械・部品	2,633	22.5	1,138	60.7
緑化造園	287	△24.6	87	△48.0
合 計	2,921	15.4	1,225	39.8

- (注) 1 セグメント間の取引については相殺処理しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## 3. 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同四半期比(%)
機械刃物及び機械・部品	2,321	3.2
緑化造園	224	△20.8
合 計	2,545	0.5

- (注) 1 セグメント間の取引については相殺処理しております。  
2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) その他

## 1. 当第2四半期累計期間製品別売上高及び前年同四半期並びに前事業年度との比較(個別)

区分	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		前事業年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
鉄鋼用刃物	378 (28)	17	347 (32)	16	755 (53)	18
合板用刃物	86 (20)	4	76 (19)	3	178 (49)	4
製紙パルプ用 刃物	269 (6)	12	323 (11)	15	553 (17)	13
情報産業用刃 物	570 (45)	26	652 (42)	29	1,230 (92)	29
製本用刃物	19 (2)	1	32 (4)	1	46 (5)	1
産業用機械及 び部品	555 (56)	26	500 (26)	22	965 (85)	22
その他	301 (31)	14	314 (27)	14	577 (57)	13
合 計	2,181 (191)	100 (9)	2,247 (165)	100 (7)	4,308 (361)	100 (8)

(注) 売上高金額欄の( )は輸出分であります。

## 2. 当第2四半期累計期間製品受注高及び前事業年度との比較並びに当第2四半期累計期間受注残高(個別)

区分	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)		前事業年度 (自平成28年4月1日 至平成29年3月31日)		当第2四半期 会計期間末 受注残高 (平成29年9月 30日現在)
	金額 (百万円)	構成比(%)	金額 (百万円)	構成比(%)	金額 (百万円)	構成比(%)	金額(百万円)
鉄鋼用刃物	413	20	390	16	763	18	191
合板用刃物	92	4	83	3	177	4	31
製紙パルプ用 刃物	272	13	328	13	580	13	93
情報産業用刃 物	625	30	764	30	1,249	29	309
製本用刃物	21	1	25	1	70	2	24
産業用機械及 び部品	390	19	646	25	895	21	390
その他	266	13	307	12	587	13	68
合 計	2,082	100	2,546	100	4,325	100	1,110